平成27年度事業評価採点表

		事業計画	事業概要	自己評価点	評価点
1. 展示	①常設展示	リニューアル計画の可能性の検討	観覧者ニーズ、参加体験型、ハンズオンをとり入れた常設展の大規模リニューアル計画の可能性を検討する。	6	6.15
		紫金山公園と一体化した展示計画	博物館が立地する紫金山公園の史跡や釈迦が池と博物館との関係性を示す一体化した展示を計画する。	6	6.15
		展示の更新	館蔵資料を活用した現展示を定期的に更新し、わかりやすい解説を行う。	6	6.08
	②企画展示	企画展中期計画の立案と開催	企画展の中期計画（5年）を立案し、計画的に開催する。	8	8.08
		企画展の開催	春季特別展 『生誕100年西村公朝展－ほとけの姿を求めて－』	8	8.38
			企画展示 『さわって楽しむはくぶつかん inすいた』	8	8.08
			夏季展示 『まもる自然・つくる環境－こんなのみつけたよ－』	8	8.23
			博物館実習展 『大学生による館蔵品展－歴史・美術・考古・民俗資料がいっぱい－』	6	6.54
			秋季特別展 『絵図っておもしろい－国絵図と村絵図－』	8	8.38
			特別企画 「むかしのくらしと学校」	8	8.08
			28年度実施特別展示の準備	8	7.77
			各種の連携展示の実施	さまざまな連携に基づく展示を継続実施する。	8
		西村公朝展示の定期的開催	西村公朝資料の受入れ後に資料活用として定期的な展示を実施する。	6	6.08

2. 市民 参画	①市民 ニーズ の把握	アンケートの調査・集計 来館者調査	利用のニーズを把握するアンケートを 引き続き実施、分析し、博物館活動に 供する。	6	6.17
	②市民 との連 携	博物館事業への市民の参 画	特別展や講座、トークなどの講師や「博 物館だより」などへの執筆について市民 参画をマネジメントする。	8	8
		市民団体との連携事業	市民団体との連携事業を実施する。	6	6.33
	③ボラ ンティ ア	特別企画への参入	ボランティアによる学校教育連携展示 への企画運営を継続実施するととも に、ミュージアムエデュケーターとし ての機能を促進する。	8	8
		ボランティアの活動領域 の増加と研修	ボランティアの活動領域をふやし、そ の領域に応じた計画的な研修を実施す る。	8	7.83
			「むかしのくらしと学校」展の参考と すべく大阪府立弥生文化博物館を視 察。ボランティア活動に関する意見を 交換	6	6.33
3. 地域 学習の拠 点と連携	①地域 学習の 支援	幅広い年齢層への催事の 実施	幅広い年齢層を対象とした催事の充実 をはかる。	6	6.08
		博物館利用講座・バック ヤードツアー	博物館の利用法や日常業務の理解を深 めるバックヤードツアー、ワーク ショップなどの活動を推進する。	6	6.25
		出前講座・依頼講座	出前講座などの講師派遣を継続実施す る。	8	8.5
		レファレンス業務	レファレンスサービスの一層の充実を はかる。	6	6.33
	②連携	旧西尾家住宅、旧中西家 住宅との連携事業	旧西尾家住宅、旧中西家住宅とのさま ざまな連携を進める。	6	6.38
		図書館・公民館との連携 事業	図書館、公民館との連携事業を実施す る。	6	5.85
		北大阪ミュージアム・ ネットワークとの連携	北大阪ミュージアム・ネットワークの 連携事業を進展させる。	8	7.92
		近隣館との連携事業	近隣館との連携事業を実施する。	6	5.85
		吹田郷土史研究会との連 携	吹田郷土史研究会など地元歴史団体と の連携事業を実施する。	8	7.92

4. 情報発信	①広報の充実	ホームページのコンテンツの整理・充実	ホームページをより充実し、わかりやすく、見やすくするため新たなコンテンツの加除による整理を実施する。	8	7.92
		ソーシャルメディアによる広報	市報・ホームページ・マスメディア・ローカルメディアなど従来の広報に加え、新たな広報手段としてソーシャルメディアを検討する。	6	6.08
		Eメールサービスの検討	全庁的に検討されているe-mailサービスの展開に合わせ、サービスを検討する。	8	7.83
	②博物館活動の公開	特別利用の促進	特別利用（資料閲覧・貸出・写真提供）を促進する。	6	6.25
		研究成果事業報告・評価の公開	館報などのさまざまな印刷媒体、ホームページなどのメディアによって使命、事業報告、事業評価、研究成果を発信していく。	6	6.08
5. 学校教育との連携	①利用の促進	特別企画「むかしのくらしと学校」の展示改良	学校教育との連携展示において教員からの要請や学校副読本の改定にあたり、展示内容を改定する。	8	8.25
		夏季展示の学習活用	身近な自然と環境などをテーマとする夏季展示を活用し、夏休みの自主学习、宿題などへのサポートの促進をはかる。	8	8
		さまざまな学年教科への教材・出前授業の検討・表示	さまざまな学年、教科に活用できる教材の開発、出前授業メニューを検討、提示する。	6	6.83
	②学校教育への支援	中学校への地域史テキストの刊行	中学校との連携として社会科を対象に校区の地域史に関する教材の刊行を軸に進める。	6	6.92
		吹田高校との高博連携事業	吹田高校との高博連携をさらに強化充実させる。	6	6.42
		高校生インターンシップ	高校生のインターンシップを継続して受け入れるとともに、内容を整備し、博物館業務の理解を進める。	4	4.25
		①資料の収集と保管	重点収集資料を中心とする資料収集	収集方針を確定させる 重点収集資料を中心に資料収集を進める。	6
②収蔵資料の保管・管理	収蔵庫の増築	収蔵庫を増築し、土器や瓦類を一般収蔵庫から移動させ、西村公朝資料を収納する。	6	6.23	
	虫害対策とくん蒸に関する研究・将来計画	文化財の虫害対策について環境法などのくん蒸の最新情報を研究し、将来計画に備える。	8	7.69	
	③データベースとその公開	資料記録のデジタル化	資料のデジタル化を進める。	6	6.08
データベースの整備・検討		資料のデータベースの整備を図書館データベースとの連携を視野に検討する。	4	4.46	

7. 調査研究	①館独自の自主研究事業	館の目標に基づく調査研究	館の目標に基づく調査研究事業を展開する。	6	6.31
		常設展示更新の調査研究	常設展示を更新させるための館蔵資料の調査を進める。	6	6.23
		特別展・企画展に関する調査研究	特別展・企画展に関する調査研究を実施する。	8	8
		研究成果の公開	調査研究成果を展示や講演会、論文・レポートなどに記録していく。	6	6.85
		学芸研究会	学芸研究会を実施する。	8	9.15
	②共同研究事業	北大阪ミュージアム・ネットワークとの共同調査・事業	北大阪ミュージアム・ネットワークによる共同調査を実施する。	8	7.62
8. 施設の整備・維持管理	①施設の維持・管理	展示機器の定期点検	展示機器の定期点検を継続して実施する。	8	7.92
		外国語施設案内表示	外国語の施設案内表示を作成する。	4	5.08
		機械室の設備更新	機械室の設備を順次更新していく。	6	6.38
	②アクセス	J R 岸辺駅前アクセス表示	J R 岸辺駅前の本格的な整備にあわせてアクセス表示を設置する。	6	6.08
		名神高速道路吹田サービスエリアからのアクセスロード	名神高速道路吹田サービスエリアからのアクセスロードを引き続き検討する。引続き名神高速道路吹田サービスエリアからのアクセスを可能にするよう	4	3.77
	③ビジターセンター	紫金山公園ビジターセンターの建設	紫金山公園ビジターセンターの建設を推進する。	4	3.69
9. 社会貢献	①人材育成	博物館実習	博物館実習を継続して受け入れる。	8	8.31
		JICA研修	J I C A 研修を継続して受け入れる。	10	9.23
		学芸員インターンシップ	学芸員インターンシップを受け入れる。	6	6.54
	②学会、研究会等	学会、研究会への支援	学会、研究会等と共同事業での貢献を果たす。	8	8.08